



研究テーマ

1 会話分析・相互行為分析

2 文化とコミュニティ

3 地域の国際化



福島 三穂子

ふくしま みほこ
地域資源創成学部

准教授

キーワード

会話分析
相互行為分析
エスノメソドロジー
コミュニケーション
異文化理解
地域活性化
インバウンド観光
地域の国際化

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

質的社会学研究法、特に会話分析・相互行為分析やエスノメソドロジーを使った研究をしています。会話分析やエスノメソドロジーは、社会の人びとが当たり前実践している方法論を明らかにすることを目的としています。これらの方法論を使って、社会における人びとの実践の様々な現場を観察・分析することで、どのように自己と他者が相互理解を可能にしているのか、多様な価値観を持つ人々が織りなす多様な社会は、どう人びと自身によって組み立てられているのかなど、社会の日常で起こるコミュニケーションを紐解き、理解したいと考えています。また、地域の国際化への貢献が主に教育プログラムの中でどのように可能なのかを探究しています。

1 会話分析・相互行為分析

質的社会学研究法の中でも、会話分析・相互行為分析・エスノメソドロジーといった方法論を使った研究をしています。主に日本語での相互行為の仕組みを理解したいと考えています。相互行為言語学の方法論も取り入れ、言語的なレベルにおいては、日本語と英語の言語構造の違いと相互行為の関係性を見たり、また身体的なレベルにおいては、視線や身体の動き、タイミングなどマルチモダルな資源も使いながら分析を行います。言語と身体両方を含む視点から、いわゆる日本人論では明らかになっていない、日本的と言われるコミュニケーションの解明を目指しています。

2 文化とコミュニティ

会話分析や相互行為言語学を主な方法論とし、地域社会の人びとの「当たり前」を紐解くことを研究対象としています。社会における人びとの実践の様々な現場を観察・分析することで、どのように自己と他者が相互理解を可能にしているのかに興味を持っています。例えば、地域の様々なコミュニティにおいて、外と内の文化の境界線はどう地域の人びとによって線引きされているのか、そして外と内はどう融合されているのか、アメリカやカナダの文化の融合の現場である日系人コミュニティを対象にしたり、宮崎の中山間地域のコミュニティを対象にしたりしながら、相互行為から見えてくる人びとの日常の実践を明らかにしようとしています。中山間地域では、例えば、伝統的な郷土料理とはどんな風に語られ、扱われ、地域食ではない物との差別化がされているのか、など地域住民には「当たり前」となっている価値観を見える化しようとしています。また、産学官連携事

3 地域の国際化

地域の国際化のテーマでは、地域の国際化への貢献が主に教育プログラムの中でどのように可能なのかを探究しています。市町村や民間企業とも連携し、主にインバウンド観光に関わる課題について取り組んでいます。例えば、外国人目線による宮崎の魅力を再発掘するためのフィールドワークを実施したり、新たな観光メニューの開発を行ったりしています。また宮崎の様々な情報発信を英語で行なっています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

会話分析を方法論とした調査

メッセージ

質的社会学研究法（会話分析・相互行為分析）に関心のある方は、ご連絡下さい。